

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いるどりジュニア白河		公表日			令和7年 3月 10日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	・定期的、その都度と見直しを行っている。	・職員からの目の届くスペース（個室）を設置していく。 ・学年が上がっていく事や新規利用児童を検討して適切かを更に目指す。（年齢差等含む。）	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		2	2	・個別、小集団、集団を取り入れ配置を行っている。	・利用人数に合わせ、職員の配置数を考える。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		2	2	・構造化は随時、見直しを行っている。	・トイレまでの廊下が薄暗くスロープを両サイド延長できれば。 ・バリアフリー化に関しては難しい所もあるが、見直しを行い可能な限り対応を心がける。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4		・定期的、その都度と見直しを行っている。				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4		・見直しを行い、現状考え得る構造化を行っている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	1	・行っているが、更に見直しや改善を行っている。	・理解した上で統一を図り、参画を行える様にする。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・至らない点が多く迷惑をかけている部分があるので、今後より一層業務改善を心がけるように、不定期や全体での意向確認を行いたい。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・可能な限り行っているが、更に行っていく。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・取り入れる事を検討したい。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・研修に参加できる機会を少しずつ増えてきた。（調整してもらっている。） ・社内研修を行い、職員の一人一人の自己研鑽に繋げ、より良い支援を行えるように確保してもらっている。	・更に外部の研修等に参加し、知識だけでなく連携を図れる場を提供したい。その為の職員配置や中長期の計画。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	・適切かどうかは判断が難しいが、行っている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・5領域の意味の理解を更に行い、作成を今後も心がける。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4						

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	1	・固定されても良い部分とそうでない部分の見極めを行い、提供する。	・固定されつつある。幅広く情報収集してプログラムを組んでいきたい。 ・固定されても良い部分とそうでない部分の見極めを行い、提供する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・次の日だが行っている。 ・シフトの関係でその日（当日）はほぼ難しい状況。（翌日） ・現状勤務等の関係で翌日になっているが、行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2	2	・選択のしやすい支援をしていく。	・選択のしやすい支援をしていく。 ・工夫はしているが、見極めが不足している部分もあるので、見直しを行っていく。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		・整えられているか不明。 ・整えて頂いていると思っている。こちらからも呼びかけを行ってきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2	・基本的には行えているが、突発（行事等）で下校時間が遅くなった時に困っている。	・突発的な事に関しては難しさを持っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		・受け入れる立場としては、更に望む。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4	・まだ移行している（した）利用者はいない。 ・現状該当していないが、今後ある事なので進めていきたい。	・今後の為の情報収集や体制の整備を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		・現状行えていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		・現状行えていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		・現状難しい。 ・現場を考えるとなかなか参加出来ない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1		・不足していると感じさせてしまっていると思うので、更に深められるように進める。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		・職員の参加を次年度進める。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1		・不足していると感じさせてしまっていると思うので、更に深められるように進める。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1		・不足していると感じさせてしまっていると思うので、更に深められるように進める。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1		・不足していると感じさせてしまっていると思うので、更に深められるように進める。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3		・開催できる様にしていきたい。 ・保護者会、見学会等の検討。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	2	・対応しているつもりだが、不足部分もあるのでは。体制の整備と日頃の対応を再度検討。	・苦情があった場合、すぐ対応できない事がある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		4		・定期的に発行していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	・行っていない。	・行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		・再度周知を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		・会社全体としても行っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1		・確認しているが、該当児童はいない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・現状考え得る事は行っているが、今後も検討が見直しが必要。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		・再度周知を行う。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			